

当報告の内容は、それぞれの著者の著作物です。

Copyrighted materials of the authors.

共同研究課題「日琉語族内の声調類型論の再構築」

2021年度第3回研究会（通算第3回目）報告書

日時：2021年12月19日（土）10:30～16:30

場所：Zoomによるオンライン開催

使用言語：日本語

共催：基幹研究「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築（LingDy3）」

科研費挑戦的研究（萌芽）「日琉諸語における格という文法カテゴリーの検討」

プログラム：

10:30-10:40 青井隼人（AA研／国立国語研究所）

趣旨説明

10:40-11:40 倉部慶太（AA研）

東南アジア大陸部諸語の声調概説

11:40-13:00 昼休憩

13:00-14:00 竹内史郎（成城大学）

宮城県登米町方言のアクセントと句音調をふまえて

——昇り核の発生と北奥祖体系との関連など——

14:15-15:15 黒木邦彦（神戸松蔭女子学院大学、AA研共同研究員）

日本語アクセント方言における動詞の音調形成：

語幹領域内に生じる辨別的ピッチ下降

15:30-16:30 全員

全体討議

報告者：青井隼人（AA研／国立国語研究所）

2021年度第3回研究会では3件の研究発表があった。倉部氏の発表は、東南アジア対陸部諸語に見られる声調体系を概観したものであり、本プロジェクトの推進にとって大変示唆に富むものであった。竹内氏と黒木氏の発表は、それぞれ日本語方言のアクセントが関わる現象を報告したものである。いずれも今後の研究の展開に関わる重要な手がかりを提示してくれた。最後の全体討議でも、有意義な情報交換・意見交換がなされた。